

友愛

Y U A I
109
平成26年10月1日発行

特集 介護職をめざす学生を応援する
奨学金制度

特集 地域に根ざした
デイサービスセンターをめざして

- ふれあい通信
- スタッフエッセイ



社会福祉法人 北海道友愛福祉会

介護職をめざす学生を 応援する奨学金制度。

原則、返済義務のない奨学金が毎月15,000円給付されるほか、法人内のさまざまな介護施設でのボランティアを体験できる介護奨学金制度。介護職をめざす江別市在住の学生を対象に、地域貢献の一環として創設されました。



静苑ホーム
施設長
市川 茂春 さん

返済義務のない給付型で、 貴重なボランティア体験も。

法人創立40周年を迎えた北海道友愛福祉会が、地域貢献の一環として導入した介護奨学金制度。本年度からはじまったこの制度には、今年4月、介護養成校に通う8名が採用されました。

この制度がユニークなのは、作文（今年の課題は「介護の仕事を目指した理由」と面接で審査を行い採用が決まるといところ。家庭の経済状況や学力よりも本人の意欲を重視しています。さらに、一般的な奨学金の大半は返済義務がある貸与型なのに対し、年に10日程度のボランティアに参加するという条件はあるものの、返済しなくてもよい給付型であるというのが大きな特長です。

北海道友愛福祉会には、特養から老健、グループホーム、在宅などの各施設がそろっているため、ボランティア時に多様な介護サービスを体験できるメリットもあります。そこには、学生時代にこそさまざまな介護の現場を体験し視野を広げること、自分に適した介護の分野を見定めてほしいとの願いも込められています。

- 一般的な奨学金制度
- 大半が返済義務のある貸与型である
- 返済利子が課せられる貸与型が多い
- 経済状況や成績についての審査基準がある
- 給付型は少なく競争率が高い

北海道友愛福祉会の奨学金制度

- 原則的に返済義務のない給付型である
- 課題作文の提出と面接で審査
- 家庭の経済状況や成績についての制限はなし
- 年10日程度のボランティアへの参加
- 江別市在住の学生が対象

ボランティアの主な内容

- ご利用者とのコミュニケーション
- イベント・催事などのサポート
- 居室等の清掃作業
- 食事介助の見学及びサポート
- 職員の作業補助 等

地域貢献の一環として、 介護職をめざす学生を応援。

このような奨学金制度を創設する背景には、介護職をめざす若者の減少があります。北海道友愛福祉会の地元である江別市においても介護人材の不足は深刻です。それは介護事業者だけでなく、介護サービスを利用する地域住民にとつても大きな課題となります。ある試算によると2025年の超高齢化社会を迎えるまでに、全国で100万人以上の介護に携わる人材が必要になるとされています。その介護人材の確保へ向けた地域貢献の一環として創設したのがこの

事業者間の枠を超えて、 地域全体で介護人材の育成へ。

「今後も、この介護奨学金制度を継続していくつもりで、将来、この奨学金を受けた学生と一緒に働く機会ができればうれいすね。しかし、この制度は当法人への就職を

前提としたものではありません。どこかで介護に携わる人材になってもらえればよいと考えています」と、市川さん。奨学金制度という堅いイメージがありますが、この制度を利用する学生同士のつながりを深め情報交換の場となるよう親睦会なども開催しています。将来的には、奨学金の給付やボランティアだけでなく、学生自らの企画によるイベントの開催など、より柔軟な学生応援プロジェクトとして広がりのある制度にしていきたいと考えています。

これまで北海道友愛福祉会では、介護職員の人材育成に向けた各種セミナーの開催や講師の招聘

など、事業者間の枠を超えさまざまな研修等を実施してきました。それは、地域の各事業所が互いに切磋琢磨し、地域全体で介護人材を育てようという取り組みであり、こうした研修に参加した介護職員はこの2年間で270名にものぼります。

いま、介護人材の育成は地域全体、そして国全体の課題といえますが、こうした北海道友愛福祉会の活動が、地域介護の活性化を支える原動力として寄与し、介護事業の要となるよう、期待が高まります。



札幌社会福祉専門学校
2年 武田 里央奈さん

毎月の奨学金だけでなく、さまざまな 介護分野の体験ができるのも魅力です。

この制度には、専門学校の先生から「江別市在住者が対象だから」と勧められ応募しました。毎月、奨学金をいただけるだけでなく、貴重なボランティア体験ができることも魅力でした。静苑ホーム、友愛ナーシングホームや今年できた認知症対応型のグループホームゆうあいなど、さまざまな介護分野の体験ができます。さらに、職員の方々からいろいろなアドバイスやお話を聞けるという、いいこと尽くめのこの制度には本当に感謝しています。

アルバイトを少し減らし、 学校の勉強に励むことができます。

祖母がリウマチで苦しんでいた中学生のころ、静苑ホームのボランティアに来て介護の大切さを知りました。その体験が介護福祉士をめざすきっかけとなり、現在、札幌の専門学校に通っています。この奨学金を受けられたことでアルバイトを少し減らし、その分、学校の勉強に励むことができます。また、学校の研修とは違い、ボランティアという別の視点で介護の現場を体験できることはとても貴重です。将来は、たくさんのお年寄りに喜ばれる介護を实践することで、この制度へのお返しができると思っています。



札幌社会福祉専門学校
1年 佐々木 淳さん

季節を感じる作品展はいかがでしょう。

グループホームゆうあいでは、随時ご利用者の作品展を「ななかまど」「ひまわり」の各ユニットで行っています。季節を感じる折り紙やちぎり絵、習字や塗り絵に至っては職員も脱帽するほどの腕前！遊びに来られるご家族の皆さんも、この「作品展」を楽しみにしてくださっている様子です。さあ、秋の文化祭に向けて大きな共同作品でも作りましょうか！



グループホーム
ゆうあい

愛保育園

楽しかった運動会♪



9月6日に運動会がありました☆各クラス、運動会に向けて練習を毎日頑張りました♪競技ではできなかった竹馬や跳び箱、鉄棒などができるようになったり…☆お遊戯では上手に踊れるようになったり…☆当日を迎えると普段泣いていなかったのに泣いてしまう子もいましたが、子どもたちが頑張っている姿に職員は感動でした♪

心配していた天気も当日は晴天!!子どもたちの成長を感じられた楽しい運動会になりました(*^_^*)

ふれあい通信

北海道友愛福祉会とご利用者の皆さんの日々のふれあいを、あふれる笑顔の写真と一緒にご紹介します。

友愛
ナーシングホーム

友愛喫茶リニューアル!



“ご利用者の皆さんにゆっくりとティータイムを楽しんでいただこう”と、毎月2回、主に第1・第4火曜日の午後、職員による『友愛喫茶』を開催しています♪従来はボランティア委員会による開催でしたが、4月から、幅広くご利用者の皆さんと交流を図ろうと総務課の職員総勢21名が交替で“マスター”や“ママ”を務めています。ボランティアの皆さんの応援をいただいでこれからもおいしいお茶を提供していきます!



静苑ホーム

今年も賑わった花火大会!



新栄台東・西自治会と共催の花火大会。毎年、見物客が増えており、今年集まった人数はざっと千人。花火が打ち上がる度に、コンサート会場さながらの歓声が上がっていました。一方、この花火大会を演出するために、自治会の役員さんは空を見上げる暇もない程、花火の点火に大忙しです。火の粉が飛んできたり煙が目に入ったり等、辛く苦しい仕事ではありましたが、集まった皆さんの思い出のために気合・根性・我慢で乗り切り、終演を迎える事ができました。

ケアハウス
ゆうあい

幸せのおすそわけ♪



毎年恒例となった花壇作り。今年も入居者の皆さんと一緒に大切に育てています。愛情込めて育てたケアハウスの花をたくさんの方に見ていただきたいと思い、市内で一人暮らしをされている方へプレゼントすることに。「可愛がります」とおっしゃっていただけ、頑張って育てたかいがありました。

恵明園

夏の風物詩「仮装盆踊り」!



恵明園では毎年8月に、地域の方をご招待しての夏祭りを開催しています。その中で毎年恒例となっているのが仮装盆踊りです!毎年異なる仮装に身を包み盆踊りを盛り上げてくださっています。今年の見所は江別のゆるキャラ『えべっくん』!他の方たちも色とりどりの仮装に身を包み、盆踊りを楽しまれていました。

「静苑ホーム」チームが、 全日本実業団 バドミントン選手権 大会に出場!



田中美雪(介護副主任)さんと奥村杏菜(介護士)さんが所属する、バドミントンチーム「静苑ホーム」。今年、「厚生労働大臣杯第64回 全日本実業団バドミントン選手権大会」の女子団体への出場を果たしました。JR北海道、札幌市役所のチームと共に道内予選を通過し、全国大会ではトヨタ自動車や三菱自動車、キャノンなどの名だたる実業団チームと対戦。キャノンには勝利しましたが、惜しくも1勝2敗で予選敗退となりました。しかし、「実業団を相手に今出せる力で戦うことができ、とても良い刺激を受けました」と田中さん。奥村さんは「自分より上の人と戦うことができ、自分に足りないものが見つかりました。また、新たな目標ができました」と収穫は大きかったようです。2人ともご両親の影響でバドミントンをはじめ、小学校3年生の時にバドミントンのスポーツ少年団や教室に通い本格的に取り組んできました。「静苑ホーム」チーム結成後は週2回ほどの自主トレに加え、週2回2~3時間のチーム練習をこなすというハードな日々を過ごしてきました。今後は全国大会での再起をめざすとともに、仕事とバドミントンを両立させ少しでも長く続けていきたいとのこと。

デイサービスの 主な内容

送り迎え

職員がご自宅の玄関まで送り迎えいたします。センターに到着後は、看護職員が血圧、体温、脈拍を測定し体調を確認。



入浴

明るく広い浴室です。広い浴槽の他に、特殊浴槽も完備しておりますので、座った姿勢のままの入浴も可能です。



口腔体操

むせ込みや喉つまり(誤嚥)を予防する昼食前の嚥下体操。舌や口の周り、首などの筋肉を使う体操をします。



昼食

お身体の状態や好みにあわせ、管理栄養士が献立をつくり、施設内の厨房で手作りしています。行事で外食も行っています。



集団活動

リハビリ体操とレクリエーションゲーム等で、楽しみながら心地よい汗をかくてください。公園やお店への外出も行っています。



機能訓練・ 学習療法時間

上下肢の運動を行います。ご希望の方には、個別でホットパック・平行棒・階段昇降・起立・可動域訓練を行っています。



趣味活動

カラオケ、花札、麻雀、五目並べ、工作や編み物といった手芸活動など、同じ趣味を持つ方と楽しい時間をお過ごしください。



地域に根ざした デイサービスセンターを めざして。

平成9年4月、認知症のご利用者を対象とし江別市の豊幌地区に開設されたデイサービスセンター友愛江別。ご利用者それぞれの「その人らしさ」大切に、家族の目線でお話し地域に親しまれるデイサービスセンターをめざしています。

認知症のご利用者に対応した 通所施設として開設。

デイサービスセンター友愛江別が開設した当時は、認知症に対応した通所施設は少なく、ある意味、時代を先取りした取り組みといえました。そのため、専門的な知識や資格の取得が必要となり、研修や幅広い経験を積むことで、その蓄積が今日に生かされています。

現在、友愛江別の定員は1日25名で、登録しているご利用者は認知症以外の方も含めると65名となっています。職員は介護士や看護師などの有資格者で、ご家族の目線で接し、声かけをすることを心がけてお世話しています。さらには、職員自らのスキルアップや身体・脳機能のリハビリメニューの充実などにも意欲的に取り組んでいます。「また、ピアノが上手な音楽療法士や、ピアノやギターが引ける看護師など、芸達者なスタッフが多くイベントの際にはとても盛り上がりがあります」と通所介護主任の滝坂淳子さんは語ってくれました。

地域の老人クラブとの 交流を深める。

地域貢献や地域との連携は、ある意味、法人としての北海道友愛福祉会の歩みそのもので、友愛江別も積極的に取り組んでいます。すでに、近隣の老人クラブと行事を通じた交

流を深めるなど、地域に根ざしたデイサービスセンターをめざしています。数年前からはデイサービスで使う大型浴室を年末に無料開放し、職員の介助を受けながらゆったりと楽しんでもらったり、今年からは、焼き肉等の夏の野外食に老人クラブの方々を招待する計画を実施しました。そのような交流の中から、「お風呂だけでも入りたいから!」と、デイサービスのご利用者となる方々も着実に増えています。さらには、認知症の人の家族を支える会のボランティアの方々との連携や、独居高齢者や老老介護のご家族への声かけなど、外に開かれた活動も進めています。「豊幌の地に根ざしたデイサービスセンターとして、友愛江別があつて良かったと、地域の方々に言われるような存在になりたいですね」と、滝坂さんは語ってくれました。

ご家族と共に喜べる介護へ。

ご利用者さんの「その人らしさ」を見つけてあげて、職員みんなでそれを引き出してあげる。そうすることで、ご利用者も徐々に自信がついていき表情も明るくなりイキイキとしてきます。「昔のおばあちゃんに戻ったね」などと、ご家族と共に喜ぶことが私どものやり甲斐です。



デイサービスセンター
友愛江別
通所介護主任
滝坂 淳子さん

スタッフ エッセイ

今年4月から愛保育園に勤務している神谷です。1歳児を担当しています!毎日子ども達と充実した日々を送っています♪
私の趣味はお菓子作りです。

高校の時、友だちと一緒に始めました。

不器用で大雑把な私に続くわけがないと思っていましたが(笑)今ではレポートリーも増え、友人・家族にプレゼントをして喜ぶ顔みさきにちよこちよこ作っています☆特に得意なのはシュークリームとタルトです(*^_^*)
料理の方はまだまだなので今年は料理も頑張ろうと思います!!

愛保育園 神谷 美里



むかしからスポーツは大の得意でしたが、社会人になった今では有志と共にフットサルチームを作って頑張っています。夜勤明けなど練習に参加するのが難しい場合もありますが、先日の大会ではなんと1試合で3ゴール! そう、ハットトリックを決めて優勝に貢献できました!たしか、法人内でもフットサル経験者が数人いたはず。いつか北海道友愛福祉会でもチームを作りたい汗を流せたらいいなあ~と思っています。

グループホームゆうあい 仲野 光貴



運動不足を解消したいと思いながら、なかなか実行に移せないうところ、同僚から42.195kmのリレーマラソンの誘いを受けました。長距離走には自信のない私に、「6人で1本のたすきを順番にリレーするから、1人あたりの走る距離は短いよ。」と口説かれ、参戦を決意しました。コースには随所に上り坂があるほか、この日は激しい風が吹くというコンディションであったため、想像以上に体力を消耗しました。翌日は筋肉痛に見舞われてしまったので、次のレースには涼しい顔でゴールテープを切る事ができるよう、練習をしっかりと積んで臨みたいのです。

静苑ホーム 猪股 亜耶



恵明園で生活相談員をしている横山です。出身は秋田県で、北海道で暮らし始めて15年になりました。秋田弁も影をひそめ、今では北海道弁を話すようになりました。それでも、秋田に里帰りすると「まんず、こっちゃんまってけれ、えぐきたな」「おっきくなつたな、ちゃんと、ままくつてだが?だじゃくこがなが?」など聞きなれた秋田弁が飛び交い、それにつられて、私も秋田弁で話をします。その様子を見ている妻と子どもは、不思議そうな顔をしています。他の人が聞くとわからない言葉もありますが、これからは秋田弁を大切にしていきたいと思います。へばね!

恵明園 横山 敦夫



8年間、介護士として静苑ホームでお世話になり、今年の4月から野幌第一地域包括支援センターへ異動することとなりました。娘にも恵まれ、現在は皆さんにサポートしていただきながら育児と仕事の両立を目指しています。私生活では、毎年、STVホールで24時間テレビのボランティアを続けています。ボランティアに興味がある方は、是非お声をかけてください!

野幌第一地域包括支援センター 内越 景子



中学生の時にボクシングを始めました。始めたキッカケは中一の時に入院をしたため、退院後の体力づくりをするためでした。それからどんどん楽しくなっていき17歳でプロライセンスを取り、21歳までプロとしてやっていました。現在はお世話になったジムへトレーナーとして稀に行く程度ですが、運動不足の解消に大変役立っています。因みに今の厨房の仕事には全く役立ちませんが、基礎体力を身に付けたということでは役に立ったかなと良い方に考えています。これからも趣味として長く続けていこうと思っています。

友愛ナーシングホーム 橋本 俊介



社会福祉法人 北海道友愛福祉会 <http://www.yuaifukushi.jp>

介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
静苑ホーム

〒069-0806 江別市新栄台46番地の10
TEL (011) 389-4165 FAX (011) 389-4166

友愛野幌

TEL (011) 391-3540 FAX (011) 389-4170

●通所介護 ●訪問介護

●居宅介護支援・在宅介護支援センター

児童福祉施設

愛保育園

〒069-0812 江別市幸町8番地の9
TEL (011) 384-0330 FAX (011) 382-6587

江別盲人養護老人ホーム・短期入所生活介護
ヘルパーステーション

恵明園

〒067-0027 江別市豊幌美咲町23番地の8
TEL (011) 383-3351 FAX (011) 383-3598

友愛江別

TEL (011) 383-3362 FAX (011) 383-3598

●通所介護

●居宅介護支援・在宅介護支援センター

認知症対応型共同生活介護

グループホームゆうあい

〒067-0027 江別市豊幌美咲町23番地の8
TEL (011) 383-3378 FAX (011) 383-3356

軽費老人ホーム

ケアハウスゆうあい

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12
TEL (011) 382-1123 FAX (011) 382-1022

介護老人保健施設・短期入所療養介護
通所リハビリテーション・居宅介護支援
友愛ナーシングホーム

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12
TEL (011) 382-1110 FAX (011) 382-1022

江別市受託事業

野幌第一地域包括支援センター

〒069-0801 江別市中央町31番地の6
TEL (011) 381-2940 FAX (011) 381-2941

●介護予防支援